

日本造園学会と締結準備!

「造園・環境分野における社会貢献や人材育成のための協定」を

社会貢献や人材育成のための協定」を

21世紀という新しい世紀を迎え、冒頭から、地球温暖化の進展によって、私たちが、地球環境を意識せざるを得ない状況にあります。

そんな中で、多様な生き物と共生し、自然に対する慈しみの技術と定義した造園技術をもって、私たちが造園建設業界は、「環境の世紀」という追い風を、自分たちのものにする努力を展開してきました。造園

技術を以って、他産業との技術的差別化を図り、環境に関する領域の中で、主役を指すもので、技術がなければ、成立しないもので、それは、私たちが先人を通じて、長い歴史の中で

培ってきた造園技術を、時代が求める国土づくり、都市づくりの中で発揮し、素晴らしい成果を得ることによって成立します。また、造園工事に携わる造園技術者個々が、基本となる植栽

技術を中心に、景観・修景技術、動植物に関する総合的な知識に秀でることも、ちろん、日本庭園に代表される伝統的作庭技術に支えられた芸術性・意匠性等の素養と感覚を磨くことで実現されます。

このような視点にたつて、造園建設業界として、造園技術の向上ならびに造園技術の、社会へのアピールを進めてきました。

そして、このたび、造園・環境分野における社会貢献や人材育成において、より効果を高めようと、造園界

（1）身近な生活環境から地球環境に至るさまざまな空間を対象とした環境共生や景観創造のための連携有発表会」の場において、佐藤(社)日本造園建設業協会会長と養茂(社)日本造園学会長との間で締結すべく準備を進めています。

（2）「技術情報共有発表会」等への講師派遣と運営

（3）「技術情報共有発表会」等への講師派遣と運営

「日本の景観を良くする国民運動推進会議」全国大会開催

都市景観大賞の表彰など実施

日造協は昨年度に続き、技術情報共有発表会を7月10日(木)、13時から、九州のアクロス福岡で開催します。技術情報共有発表会は、各総支部、支部で取り組まれている調査研究の成果として蓄積されている貴重な技術情報を、会員が共有、活用し、造園建設業界のさらなる技術力の向上を図ることを目的に開催するものです。造園CPD認定プログラムにもなっていますので、皆様のご来場をお待ちしています。

また、今年の技術情報共有発表会は、各総支部、支部で取り組まれている技術情報のほか、(社)日本造園学会からも発表していただきます。

至る経緯、設計、施工、その他の課題について報告。

【中部総支部】フェロモントラップ/オルトラントの改善、アメニティー空間の創造をめざす。

【日本造園学会】(社)日本造園学会の造園作品選集と造園界のこれから

【東北総支部】地域性を考慮した景観構成の事例及び提案

【中国総支部】植栽困難地(海岸地域)における緑地化について

【九州総支部】高架下の植生試験について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について

【関東・甲信総支部】藤岡北高校の校庭芝生化事業について



「日本の景観を良くする国民運動推進会議」全国大会のもよう

「景観の日」において、良好な景観形成を国民運動として展開していくことを目的に「日本の景観を良くする国民運動推進会議」全国大会が6月2日、東京・港区虎ノ門のニッショーホールで開催された。

「景観の日」は、景観法の全面施行日である平成17年6月1日に併せ、小泉純一郎内閣総理大臣(当時)ご臨席のもと開催された「日本の景観を良くする国民大会」において、「毎年6月1日を景観の日とすることを提唱するとともに、今後、引き続き美しく風格のある景観づくりを国民運動として推進する」などの大会決議がなされたことな

る。大会は、(財)国立公園協会や(社)日本公園緑地協会など関連団体による日本の景観を良くする国民運動推進会議の主催で、国土交通省、農林水産省及び環境省が特別協力。(社)日本造園学会などが後援して実施。

大会当日は冒頭、主催者を代表して、桜井正光「日本の景観を良くする国民運動推進会議」会長が「私たちの全員参加でより良い景観をつくっていききたい」とあいさつ。次いで、来賓が祝辞を述べ、都市景観大賞(国交省)、美の里づくりコンクール(農水省)、自然公園写真コンクール(環境省)の表彰式が行われた。

その後、作家で書誌学者の林望氏が「環境としての歴史」と景観をテーマに基調講演。また、パネルディスカッションは「歴史文化と景観」をテーマに、陣内秀信・法政大学デザイン工学部教授のコーディネートで、平谷祐宏・広島県尾道市長、三村浩史・京都大学名誉教授、関西福祉大学教授、藤井美登利・川越むかし工房代表がパネリストに参加して行われ、景観についての意見を交わした。

【美しいまちなみ大賞】 2地区▼村上旧町人町・旧武家町地区(新潟県村上市、むらかみ町屋再生プロジェクト・チーム黒塚プロジェクト・村上市・村上大工匠の会) ▼南小国町黒川温泉地区(熊本県南小国町、黒川温泉自治会・南小国町・黒川温泉観光協会、黒川温泉観光旅館協同組合)

【美しいまちなみ特別賞】 1地区▼横浜市帷子川親水緑道地区(神奈川県横浜市、帷子川親水緑道鶴ヶ峰地区愛護会、帷子川親水緑道地区愛護会、帷子川親水緑道ホテルの会、横浜



日造協賛助会員の紹介 02 株式会社 立山エンジニアリング 『循環型社会』への第一歩として当社は、都市生活から排出される下水汚泥を発酵によりコンポスト化し、有機質土壌改良材「タテヤマユキ(※)国土交通省NETS No.1188001)取得」を生産・販売しています。

最近の造園工事においては、現場発生土を利用した環境負荷の少ない土壌改良

その後、作家で書誌学者の林望氏が「環境としての歴史」と景観をテーマに基調講演。また、パネルディスカッションは「歴史文化と景観」をテーマに、陣内秀信・法政大学デザイン工学部教授のコーディネートで、平谷祐宏・広島県尾道市長、三村浩史・京都大学名誉教授、関西福祉大学教授、藤井美登利・川越むかし工房代表がパネリストに参加して行われ、景観についての意見を交わした。

技術レポート No. 031

グリーンワーカー事業

日造協 技術情報共有発表会より
四国総支部



根返り対策の施工状況

平成14年度にグリーンワーカー事業で「防鹿柵（ポリネット）」を設置することで、ミヤコザサが徐々に回復してき

た。しかし、アケボノツツジの根返り対策は行われておらず、後継樹が育っていないことから、平成16年度に群落の衰退を防ぐために取り組みを開始した。

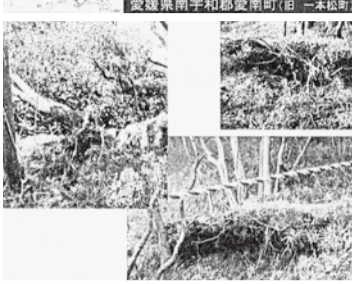
自然重視の対策を検討
対策にあたっては、「剪定による強風対策」、「支柱による風除け」を検討し、貴重な自然環境の中で、人為的な剪定ではなく、後継樹の育成のための母樹として現在の姿を保ったまま、後継樹を育成し、後継樹の成長に伴い、取り外しのできる支柱による風除けを選択。さまざまな方法と比較し、試験施工を実施。

事業の経緯

事業は、アケボノツツジの群落地として多くの来訪者があるものの、近年、稜線部を中心にアケボノツツジが根返りを起こし、シカの害により、ミヤコザサなどの林床植物が衰退し、土壌浸食がみられるなどの特別保護地区の景観が失われつつあることから検討された。

アケボノツツジ

アケボノツツジは、本州の近畿地方以西、九州、四国に分布。標高1400m〜1800mに自生する落



実施場所①と根返りの状況②、ワイヤー支柱とチップマット③

試験施工に当たっては、実施場所が登山道から徒歩で約1時間と、荷上げも困難だったが、施工後に地元住民への説明会を行い、試験工法の利点・欠点を解説したところ、強固な支持となるものの丸太のハツ掛は丸太が目立ち景観を損ねることから、株立ちのため支持方向を定めにくい茶色の被覆ワイヤーを使用する景観に配慮したワイヤー支柱での施工が決定した。

また、樹木の支持とあわせて表土流出対策にもなる客土の使用も検討したが、客土に混入した種子による生態系の破壊が危惧され、チップマットの敷設をワイヤー支柱と合わせて施工。まず荷上げ作業に始まり、

鉄筋アンカーを打ち込み、根詰めチップマットを敷設。風によってワイヤーが緩む場合があるため、あらかじめ取り付けたターンバックルで調節を行った。

育苗は、林床に後継樹の育成が見られないことから、実生、挿し木での育苗

グラスパーキング「芝生化駐車場」兵庫モデル創造事業

我が兵庫県は、県民のより快適な生活環境や良好な都市環境の創出に数々の先進的な取り組みをされている。その中でもヒートアイランド現象は関心の高い環境問題であり、ヒートアイランド対策関係府省連絡会議によって取りまとめられた「ヒートアイランド対策大綱」を踏まえ、平成17年度に「兵庫県ヒートアイランド対策推進計画」を策定し、総合的な対策を推進している。この計画の中で兵庫県や事業者の取り組みの一つとして「駐車場の舗装改善、芝生化」を掲げている。

兵庫モデル創造事業は、都部のヒートアイランド現象緩和や緑の創出、まちなみの景観性向上など、さまざまな効果が期待されている。

兵庫モデル創造事業は、都部のヒートアイランド現象緩和や緑の創出、まちなみの景観性向上など、さまざまな効果が期待されている。

兵庫モデル創造事業は、都部のヒートアイランド現象緩和や緑の創出、まちなみの景観性向上など、さまざまな効果が期待されている。

グラスパーキング兵庫モデル創造事業
グラスパーキング（芝生化駐車場）普及ガイドライン 第1次（案）

平成20年4月
グラスパーキング兵庫モデル創造事業検証委員会 兵庫県

ガイドラインの表紙

工法の種類と特徴 (ガイドラインより)

	芝生保護材による補強			土壌等による補強
	車輪部補強型 (ブロック、木材等)	全体強化プラスチックマット型	全体均一補強型 (ブロック、木材等)	全面芝生型
※概ねの緑化可能率	約50%~80%	約60%~95%	約40%~70%	100%
タイヤ圧の影響	受けにくい (補強部)	受けやすいものが多い	受けにくい	最も受けやすい
その他	・補強材料は様々	・補強材料は様々 ・施工事例は多い ・施工費が比較的安価なものもあり	・補強材料は様々	・施工事例は少ない ・施工費が比較的安価である

3. ガイドラインの概要

(1) グラスパーキングとは

- ・定義 (アスファルト舗装などの人工被覆に替えて「芝生等」で緑化した駐車場)
- ・目的・効果 (夏季等の高温期の気温低減効果、緑の創出とまちなみの景観性向上)
- ・工法の種類と特徴 (車輪部補強型、全体強化プラスチックマット型、全体均一補強型、全面芝生型)

(2) 計画上の留意点

・グラスパーキングの整備に注意が必要な駐車場 (利用形態、頻度に応じ、長時間駐車は車止めの後ろの部分的な芝生化等)

(3) 設計、施工上の留意点

- ・構造 (芝生の枯損要因を踏まえ設計)
- ・芝生の選定 (整備条件や芝生の特性を考慮して選定)
- ・土壌/路盤 (土壌の排水性と透水性、厚みの確保/路盤の良好な排水性)
- ・施工の留意点 (望ましい施工時期 (3~5月) と養生期間)
- (4) 維持管理上の留意点

水遣り、芝刈り、施肥、除草等作業における留意点

以上が概略であり、兵庫県のホームページ等にも掲載されている (http://web.pref.hyogo.jp/wd03/gp.html) 〇〇 今後の活用指針としていただければ幸いです。

中西勝 (総務委員、株中西総合カーデ)

平成18年5月の現地のおよす (貴重な景観は継続的保全が大切)

総・支部 だより

各総支部・支部からの記事をご紹介します

ポスターセッション
のもよう



ポスターセッションで 「造園CPD」単位取得を 北海道総支部

北海道総支部では、平成（ホテルポルスター札幌）20年3月5日に札幌会場で、3月25日から28日にか

けて帯広会場（帯広市役所ロビー）で、それぞれ「ポスターセッション」を開催した。

北海道総支部として、かねてから造園技術者能力の維持、向上を目的とする「造園CPD」（継続教育）の単位取得の環境づくりに努力してきたが、「造園CPD」の推奨単位数が年間50単位必要ということ

で、研修会・講習会・自己学習等を積み重ねても到達がなかなか困難な現状であった。

全国的にも、国の機関をはじめ、地方自治体においても総合評価に関する事項として配置予定技術者の「CPD」単位取得者への加点の取組みが顕著となり、今後さらに「CPD」の評価は高まるものと考えられている。

しかし、配置予定技術者（現場代理人）が年間を通して「造園CPD」の50単位を取得することは、普

段の業務従事上至難の業となつてきているのが現状であった。

北海道総支部として、会員からの「造園CPD」取得の対策要望が数多くあり、日本造園学会北海道支部とも相談しながら、現場代理人が自分で担当した現場の施工事例をまとめて研究発表することにより高い取得単位数を全うすることもできるという結論に達し、北海道総支部の役員会議・技術委員会において方法論等を含め数次にわたる議論・検討を重ね「ポスターセッション」を開催することに至った。

「現場代理人」さんたちに地域ごと（札幌地域、函館地域、室蘭地域、十勝地域）に集まってもらい「造園CPD」が評価項目として実際に運用されてきていること」および「皆さんが実際に携わってきた施工事例をまとめて、みどりの持つ思いや安らぎ、また、環

オープンシンポジウム 市民と公園・公園と管理

熊本県支部

熊本県立大学（理事長 荻茂壽太郎）の主催で去る4月3日「市民と公園・公園と管理」をテーマに特別講演会が県立大学「講義棟」で開催されました。

会場には約300名の参加者があり、その中に公園愛護会の皆さんや県内各市町村の担当者、日造協の小林常務理事をはじめとして、九州各県の会員、そして

て、県造協の皆様に来ていただきました。

開会にあたり、主催者を代表して荻茂壽太郎理事長が今回のオープンシンポジウムの趣旨説明と「公園をもっと活かすための創意工夫をして欲しい」とあいさつされました。

続いて、基調講演1では、金子忠一氏（東京農業大学教授）が、「公園の利用と

境づくりの大切さなどを地域の方々に理解してもらいませつか」と説明をし、ポスターセッションへの参画のお願いをし、多くの現場代理人さんたちの理解を得ることができ、「札幌会場」では函館地域（2社4人）

室蘭地域（1社1人）・小樽地域（1社1人）を含めて11社14人の参加、また、十勝地域では単独開催（帯広市役所ロビー）で4社16人の参加をみる事ができました。

事務局長・高橋勲

純々宮崎発の劇場用 作品に県支部がコラボ

宮崎県支部

九州電力宮崎支店・宮崎日日新聞社主催「第20回お茶の間エッセー」で特選を受賞した、松浦百合子さん原作の「三十九枚の年賀状」を実弟でありCMディ

レクターの図師三千男氏が監督脚本を手がける純々宮崎発の劇場用作品（映画）「三十九枚の年賀状」の制作発表会があった。

プロデューサーは、西都

市出身の松尾高良氏と「佐賀のがばいばあちゃん」最終兵器彼女」などを手掛けた竹本克明氏があたる。出演は風間トオル氏、松本明子氏、美木良介氏、東国原英夫宮崎県知事などが予定されており、すでに克蘭クインし、12月に公開予定である。

スタッフの大半を宮崎県出身、又は在住者が担当。まさに純々宮崎発の劇場用映画となる。

ストーリーは、戦時中松浦さん親子が三人の若い兵士を救うことに始まり、その中の兵士の一人と三十九枚の年賀状を交わす。が、四十枚目は届かず、計報に接する。

冒頭の「四十枚目の年賀状は届かなかった」という書き出しに始まるエッセーを基にした物語で、太平洋戦争の混乱の中で出会った兵士と西都市の少女との心の交流を描いた映画である。

この映画に、宮崎県を盛り上げるといふことで、児湯・西都地区支部を中心に日造協宮崎県支部はロケ地の草刈、ロケ場面の設定、エキストラ出演等全面協力して、映画のクレンジット・タイトルでも紹介される予定である。

全国の会員の皆様、映画が封切りされましたら、ぜひご覧ください。

事務局長・徳地信一

事務局長・徳地信一

事務局長・徳地信一

事務局長・徳地信一

事務局長・徳地信一

事務局長・徳地信一

事務局長・徳地信一

事務局長・徳地信一

管理、世界の中の日本」について、基調講演2では、新井安男氏（財団法人緑地管理財団企画業務部長）が、「国営公園を舞台とした公園の利用と管理」について、また、第2部では、金子忠一氏をモデレーターに、講演を行った新井安男氏、伊藤幸男氏のほか、荒

木昭次郎氏（熊本県立大学教授）、田中誠氏（熊本県土木部）、前田宜重氏（水俣城公園の指定管理者・ハートリンク水俣）をパネラーに迎え、「公園の管理」と「公園の利用」について有意義な意見交換が行われました。

最後に荻茂壽太郎理事長が「これからは工夫が出来て、知恵が出ないと本物ではない。健康のために公園をもっと味方につけて欲しい」と総括され、オープンシンポジウムは成功裡に閉会しました。

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳

事務局長・芹川隆徳



オープンシンポジウムのもよう

事務局の動き

- 5月
 - 8日・運営会議
 - 「広報日造協」編集会議
 - 12日・造園ものづくり意見交換会
 - 建築教育の需給構造と建築職能の将来像に関する特別研究委員会
 - 14日・四国総支部研修会
 - 15日・建設産業専門団体連
 - 20日・総務委員会財務部会
 - 日本造園建設業厚生年金基金代議員委員会
 - 21日・（財）日本造園修景協会理事会
 - 22日・事業委員会（在京）監事会計監査
 - 23日・（社）日本造園組合連合会総会
 - 24日・造園学会全国大会（26日（札幌））
 - 26日・（財）公園緑地管理財団評議委員会
 - 27日・総務委員会（全国）
 - 3日・総支部長・支部長合同会議
 - 13日・運営会議
 - 24日・平成20年度通常総会・臨時理事会
- 6月
 - 3日・総支部長・支部長合同会議
 - 5日・日本公園緑地全国大会（釧路）
 - 8日・第25回全国都市緑化ぐんまフェア閉会式（高崎）
 - 9日・「広報日造協」編集会議
 - 建設CPD協議会
 - 12日・IFPRAジャパン理事会、総会
 - 13日・運営会議
 - 24日・平成20年度通常総会・臨時理事会
- 平成20年度第1回理事會
- アクションプログラム推進等特別委員会
- （財）都市緑化技術開発機構理事会・評議員会
- 建設産業人材確保・育成対策顕彰式典
- 技術委員会（在京）
- （社）日本公園緑地協会総会
- （財）都市緑化基金理事會